

クロス表

		言語					合計	
		理解していないし、実践できない	理解しているが、実践できない	理解し実践の努力をしているが、訓練必要	理解し、意識的に実践している	正しく適切に理解し、よく実践している		
大学 コー	10	度数		8	33	32	8	81
		大学コーの%		9.9%	40.7%	39.5%	9.9%	100.0%
	20	度数			8	8	2	18
		大学コーの%			44.4%	44.4%	11.1%	100.0%
	30	度数	2	23	82	53	11	171
		大学コーの%	1.2%	13.5%	48.0%	31.0%	6.4%	100.0%
	40	度数	1	11	46	37	18	113
		大学コーの%	.9%	9.7%	40.7%	32.7%	15.9%	100.0%
	50	度数		10	28	24	9	71
		大学コーの%		14.1%	39.4%	33.8%	12.7%	100.0%
	60	度数	2	3	16	12	8	41
		大学コーの%	4.9%	7.3%	39.0%	29.3%	19.5%	100.0%
70	度数	2	7	33	19	12	73	
	大学コーの%	2.7%	9.6%	45.2%	26.0%	16.4%	100.0%	
80	度数		5	18	11	1	35	
	大学コーの%		14.3%	51.4%	31.4%	2.9%	100.0%	
90	度数			9	3	1	13	
	大学コーの%			69.2%	23.1%	7.7%	100.0%	
100	度数		1	2	2		5	
	大学コーの%		20.0%	40.0%	40.0%		100.0%	
合計	度数	7	68	275	201	70	621	
	大学コーの%	1.1%	11.0%	44.3%	32.4%	11.3%	100.0%	

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	36.753 ^a	36	.434
尤度比	40.647	36	.273
線型と線型による連関	.274	1	.601
有効なケースの数	621		

a. 23 セル (46.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .06 です。

クロス表

			非言語				合計	
			理解していないし、実践できない	理解しているが、実践できない	理解し実践の努力をしているが、訓練必要	理解し、意識的に実践している		正しく適切に理解し、よく実践している
大学 コー	10	度数	1	9	39	26	6	81
		大学コーの%	1.2%	11.1%	48.1%	32.1%	7.4%	100.0%
	20	度数		1	9	6	2	18
		大学コーの%		5.6%	50.0%	33.3%	11.1%	100.0%
	30	度数	2	26	82	51	10	171
		大学コーの%	1.2%	15.2%	48.0%	29.8%	5.8%	100.0%
	40	度数	2	15	51	32	14	114
		大学コーの%	1.8%	13.2%	44.7%	28.1%	12.3%	100.0%
	50	度数	2	7	27	22	12	70
		大学コーの%	2.9%	10.0%	38.6%	31.4%	17.1%	100.0%
	60	度数	4	8	13	3	1	29
		大学コーの%	13.8%	27.6%	44.8%	10.3%	3.4%	100.0%
	70	度数	3	16	31	13	9	72
		大学コーの%	4.2%	22.2%	43.1%	18.1%	12.5%	100.0%
	80	度数		7	18	9	1	35
		大学コーの%		20.0%	51.4%	25.7%	2.9%	100.0%
90	度数		1	8	2	2	13	
	大学コーの%		7.7%	61.5%	15.4%	15.4%	100.0%	
100	度数		1	2	1	1	5	
	大学コーの%		20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	100.0%	
合計	度数	14	91	280	165	58	608	
	大学コーの%	2.3%	15.0%	46.1%	27.1%	9.5%	100.0%	

カイ乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ乗	53.654 ^a	36	.029
尤度比	47.580	36	.094
線型と線型による連関	2.822	1	.093
有効なケースの数	608		

a. 23 セル (46.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .12 です。

クロス表

			面接技術					合計
			理解していないし、実践できない	理解しているが、実践できない	理解し実践の努力をしているが、訓練必要	理解し、意識的に実践している	正しく適切に理解し、よく実践している	
大学 コー	10	度数	14	31	18	2		65
		大学コーの%	21.5%	47.7%	27.7%	3.1%		100.0%
	20	度数	1	10	6			17
		大学コーの%	5.9%	58.8%	35.3%			100.0%
	30	度数	8	56	64	21	4	153
		大学コーの%	5.2%	36.6%	41.8%	13.7%	2.6%	100.0%
	40	度数	8	45	38	8	3	102
		大学コーの%	7.8%	44.1%	37.3%	7.8%	2.9%	100.0%
	50	度数	9	26	20	4	3	62
		大学コーの%	14.5%	41.9%	32.3%	6.5%	4.8%	100.0%
	60	度数	3	7	18	7	3	38
		大学コーの%	7.9%	18.4%	47.4%	18.4%	7.9%	100.0%
	70	度数	9	23	22	6	1	61
		大学コーの%	14.8%	37.7%	36.1%	9.8%	1.6%	100.0%
80	度数	9	14	5	1		29	
	大学コーの%	31.0%	48.3%	17.2%	3.4%		100.0%	
90	度数	3	5	2			10	
	大学コーの%	30.0%	50.0%	20.0%			100.0%	
100	度数		2	1	1		4	
	大学コーの%		50.0%	25.0%	25.0%		100.0%	
合計	度数	64	219	194	50	14	541	
	大学コーの%	11.8%	40.5%	35.9%	9.2%	2.6%	100.0%	

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	66.678 ^a	36	.001
尤度比	69.744	36	.001
線型と線型による連関	.127	1	.722
有効なケースの数	541		

a. 24 セル (48.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .10 です。

加算表

			傾聴					合計
			理解していないし、実践できない	理解しているが、実践できない	理解し実践の努力をしているが、訓練必要	理解し、意識的に実践している	正しく適切に理解し、よく実践している	
大学 コー	10	度数	6	13	39	13	3	74
		大学コーの%	8.1%	17.6%	52.7%	17.6%	4.1%	100.0%
	20	度数		5	10	3		18
		大学コーの%		27.8%	55.6%	16.7%		100.0%
	30	度数	4	28	57	65	13	167
		大学コーの%	2.4%	16.8%	34.1%	38.9%	7.8%	100.0%
	40	度数	2	26	46	24	10	108
		大学コーの%	1.9%	24.1%	42.6%	22.2%	9.3%	100.0%
	50	度数	4	12	31	14	6	67
		大学コーの%	6.0%	17.9%	46.3%	20.9%	9.0%	100.0%
	60	度数		1	15	20	5	41
	大学コーの%		2.4%	36.6%	48.8%	12.2%	100.0%	
70	度数	6	15	33	12	4	70	
	大学コーの%	8.6%	21.4%	47.1%	17.1%	5.7%	100.0%	
80	度数	7	13	7	2		29	
	大学コーの%	24.1%	44.8%	24.1%	6.9%		100.0%	
90	度数	2	2	4	1		9	
	大学コーの%	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%		100.0%	
100	度数		1	1	1	1	4	
	大学コーの%		25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	100.0%	
合計	度数	31	116	243	155	42	587	
	大学コーの%	5.3%	19.8%	41.4%	26.4%	7.2%	100.0%	

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	101.306 ^a	36	.000
尤度比	98.976	36	.000
線型と線型による連関	5.441	1	.020
有効なケースの数	587		

a. 22 セル (44.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .21 です。

クロス表

			観察					合計
			理解していないし、実践できない	理解しているが、実践できない	理解し実践の努力をしているが、訓練必要	理解し、意識的に実践している	正しく適切に理解し、よく実践している	
大学 コー	10	度数 大学コーの%		6 7.4%	41 50.6%	28 34.6%	6 7.4%	81 100.0%
	20	度数 大学コーの%			11 61.1%	7 38.9%		18 100.0%
	30	度数 大学コーの%	1 .6%	24 14.4%	69 41.3%	61 36.5%	12 7.2%	167 100.0%
	40	度数 大学コーの%	1 .9%	10 8.8%	48 42.1%	44 38.6%	11 9.6%	114 100.0%
	50	度数 大学コーの%	1 1.4%	4 5.6%	29 40.8%	28 39.4%	9 12.7%	71 100.0%
	60	度数 大学コーの%	1 2.4%	3 7.3%	13 31.7%	16 39.0%	8 19.5%	41 100.0%
	70	度数 大学コーの%	3 4.2%	6 8.3%	39 54.2%	20 27.8%	4 5.6%	72 100.0%
	80	度数 大学コーの%	2 5.9%	4 11.8%	17 50.0%	10 29.4%	1 2.9%	34 100.0%
	90	度数 大学コーの%		6 46.2%	6 46.2%	1 7.7%		13 100.0%
	100	度数 大学コーの%			1 20.0%	4 80.0%		5 100.0%
	合計	度数 大学コーの%	9 1.5%	63 10.2%	274 44.5%	219 35.6%	51 8.3%	616 100.0%

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	63.627 ^a	36	.003
尤度比	59.465	36	.008
線型と線型による連関	3.052	1	.081
有効なケースの数	616		

a. 23 セル (46.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .07 です。

加え表

			背後コース					合計
			理解していないし、実践できない	理解しているが、実践できない	理解し実践の努力をしているが、訓練必要	理解し、意識的に実践している	正しく適切に理解し、よく実践している	
大学 コー	10	度数		4	48	25	4	81
		大学コーの%		4.9%	59.3%	30.9%	4.9%	100.0%
	20	度数		1	8	8	1	18
		大学コーの%		5.6%	44.4%	44.4%	5.6%	100.0%
	30	度数		17	67	61	23	168
		大学コーの%		10.1%	39.9%	36.3%	13.7%	100.0%
	40	度数		8	43	42	20	113
		大学コーの%		7.1%	38.1%	37.2%	17.7%	100.0%
	50	度数	1	4	23	29	14	71
		大学コーの%	1.4%	5.6%	32.4%	40.8%	19.7%	100.0%
	60	度数			9	32		41
		大学コーの%			22.0%	78.0%		100.0%
70	度数	3	7	36	21	6	73	
	大学コーの%	4.1%	9.6%	49.3%	28.8%	8.2%	100.0%	
80	度数		7	13	13	2	35	
	大学コーの%		20.0%	37.1%	37.1%	5.7%	100.0%	
90	度数		3	7	2	1	13	
	大学コーの%		23.1%	53.8%	15.4%	7.7%	100.0%	
100	度数			2	2	1	5	
	大学コーの%			40.0%	40.0%	20.0%	100.0%	
合計	度数	4	51	256	235	72	618	
	大学コーの%	.6%	8.3%	41.4%	38.0%	11.7%	100.0%	

カイ乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ乗	87.912 ^a	36	.000
尤度比	86.141	36	.000
線型と線型による連関	.578	1	.447
有効なケースの数	618		

a. 23 セル (46.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .03 です。

第2章 社会福祉士養成校教員並びに実習先施設・機関の実習指導者に対する 学生コンピテンシーに関する研究

(1) 養成校教員に対するコンピテンシー調査の概要

藤林 慶子（東洋大学）

1) 調査の目的

本調査は、学生に行ったコンピテンシー調査を養成校教員に対して実施し、各項目が実習生を評価する行動特性として適当かどうかについて明らかにすることを目的とした。

2) 調査の方法

社会福祉士養成校協会が開催する社会福祉教育セミナー「第5回ソーシャルワーク実践教育研修講座」において、参加した社会福祉士養成校教員並びに高等学校福祉科担当教員等に対して、調査票を配布し38名からの回答を得た。

3) 調査結果

① 調査対象者所属

調査対象者の所属は、半数近くが大学教員であった。通学生社会福祉士養成校教員も20%程度の回答を得た。

表2-2-1 所属

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 大学	18	47.4	47.4	47.4
短期大学	3	7.9	7.9	55.3
通学生社会福祉士養成校	9	23.7	23.7	78.9
通信制社会福祉養成校	1	2.6	2.6	81.6
社会福祉士養成校以外の 専門学校	1	2.6	2.6	84.2
高等学校	6	15.8	15.8	100.0
合計	38	100.0	100.0	

② 調査対象者性別

調査対象者の性別は、女性が63.2%と多かった。

表2-2-2 性別

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 男	14	36.8	36.8	36.8
女	24	63.2	63.2	100.0
合計	38	100.0	100.0	

③ 年齢

年齢は、30代が最も多く31.6%、次いで40代、50代の順であった。

表2-2-3 年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 20代	3	7.9	7.9	7.9
30代	12	31.6	31.6	39.5
40代	10	26.3	26.3	65.8
50代	7	18.4	18.4	84.2
60代	6	15.8	15.8	100.0
合計	38	100.0	100.0	

④ 以下では各項目について、「大変適切な項目である」「やや適切な項目である」「あまり適切とはいえない項目である」「ほとんど適切とはいえない項目である」から回答を得た。

46 評価項目中、一番「大変適切である」が多かったのは、「実習目標が明確である」であり、「守秘義務を理解し、実習において実践している」「自分なりの問題意識を持ち、実習についてのモチベーションを持っている」「実習において行う実践や様々な行動に責任が伴うことを自覚している」「利用者の個別性を尊重している」の順であった。

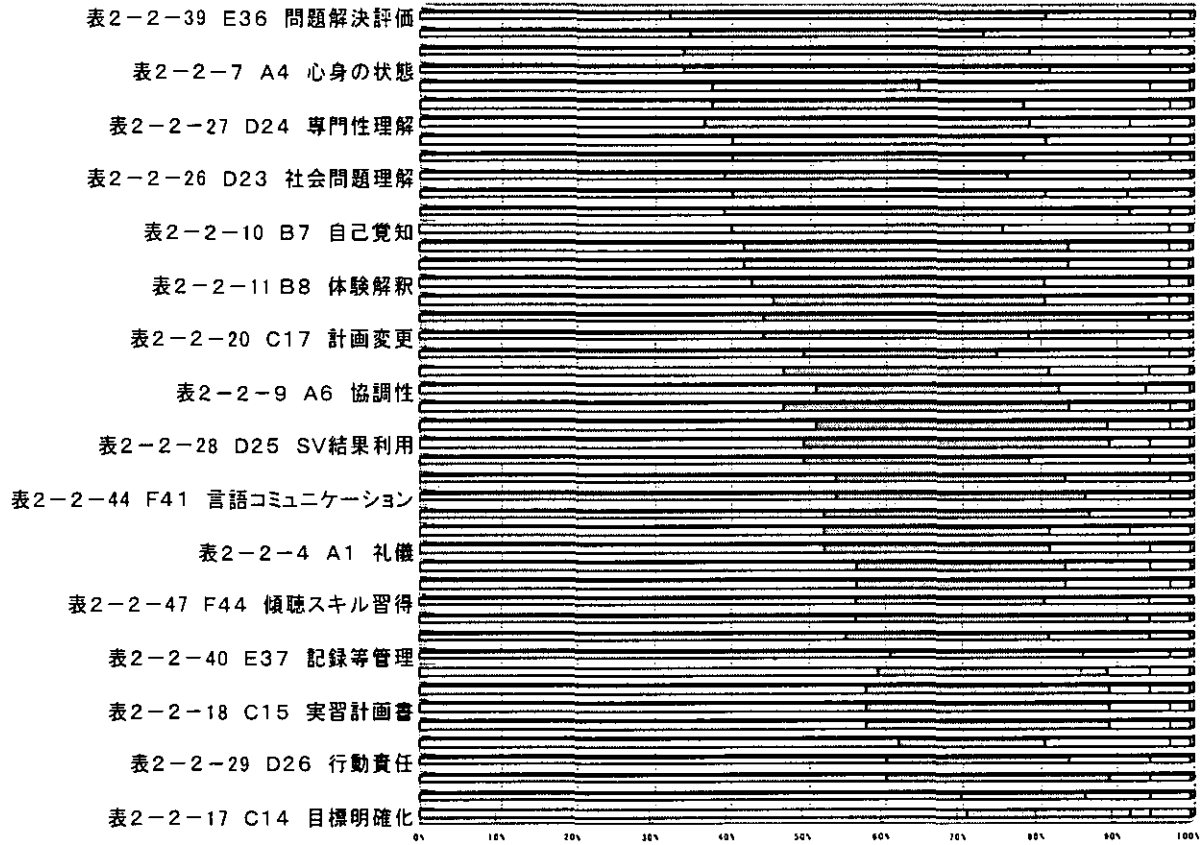
大半の項目が70%以上が「適切」としており、適切が60%台であったのは「心身共に適切な状態を維持している」のみであった。

表 2 - 2 - 4 評価項目

	大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	合計
表2-2-17 C14 目標明確化	27	8	1	2	38
表2-2-36 E33 守秘義務	26	6	3	2	37
表2-2-16 B13 モティベーション	23	11	2	2	38
表2-2-29 D26 行動責任	23	9	4	2	38
表2-2-37 E34 個別性尊重	23	7	6	1	37
表2-2-18 C15 実習計画書	22	12	3	1	38
表2-2-18 C15 実習計画書	22	12	3	1	38
表2-2-30 D27 倫理・価値	22	12	2	2	38
表2-2-31 D28 人権、権利擁護理解	22	11	2	2	37
表2-2-40 E37 記録等管理	22	9	4	1	36
表2-2-5 A2 話し方	21	10	5	2	38
表2-2-41 F38 ノート見解	21	13	1	2	37
表2-2-47 F44 傾聴スキル習得	21	9	5	2	37
表2-2-48 F45 利用者観察	21	10	5	1	37
表2-2-49 F46 ニーズ理解	21	10	4	2	37
表2-2-4 A1 礼儀	20	11	5	2	38
表2-2-8 A5 期日	20	11	4	3	38
表2-2-23 C20 実習まとめ	20	13	4	1	38
表2-2-44 F41 言語コミュニケーション	20	12	4	1	37
表2-2-45 F42 非言語コミュニケーション	20	11	5	1	37
表2-2-25 D22 知識、技術等理解	19	11	6	2	38
表2-2-28 D25 SV結果利用	19	15	2	2	38
表2-2-42 F39 記録	19	14	3	1	37

表2-2-6 A3 服装等	18	14	5	1	38
表2-2-9 A6 協調性	18	11	4	2	35
表2-2-13 B10 実習先施設等理解	18	13	5	2	38
表2-2-46 F43 面接技術習得	18	9	8	1	36
表2-2-20 C17 計画変更	17	13	7	1	38
表2-2-21 C18 毎日の成果評価	17	19	1	1	38
表2-2-33 E30 アセスメント修得	17	13	6	1	37
表2-2-11 B8 体験解釈	16	14	6	1	37
表2-2-14 B11 システム把握	16	16	5	1	38
表2-2-15 B12 実習相違理解	16	16	5	1	38
表2-2-10 B7 自己覚知	15	13	8	1	37
表2-2-22 C19 終了後の成果評価	15	20	2	1	38
表2-2-24 C21 トラブル対処	15	15	4	3	37
表2-2-26 D23 社会問題理解	15	14	6	3	38
表2-2-34 E31 チームアプローチ	15	14	7	1	37
表2-2-35 E32 援助展開理解	15	15	6	1	37
表2-2-27 D24 専門性理解	14	16	5	3	38
表2-2-32 E29 ケース把握	14	15	7	1	37
表2-2-43 F40 メモ適切	14	10	11	2	37
表2-2-7 A4 心身の状態	13	18	6	1	38
表2-2-12 B9 失敗への対応	13	17	6	2	38
表2-2-38 E35 SW実践評価	13	14	9	1	37
表2-2-39 E36 問題解決評価	12	18	6	1	37

図2-2-1 教員回答適切項目



大変適切な項目である やや適切な項目である あまり適切とはいえない項目である ほとんど適切とはいえない項目である

⑤ 項目等への意見（自由記述）

項目等への意見については、各項目への具体的な意見の他に、何をもって「理解している」「実践できている」のを判断するのか、判断基準が曖昧であるという指摘が多かった。

評価項目全体の不適切さの指摘もあったが、実習評価にコンピテンシー評価を利用することの有用性を支持する肯定的な記述もあった。

4) 結論

教員に対するコンピテンシー項目のアンケート調査結果からは、多くの項目が実習評価について必要であるとする項目が多いことがわかった。しかし、各項目においてその判断基準が曖昧であることは、学生対象の調査においても指摘されているが、今後の課題である。コンピテンシーという表現については、学生ではわかりにくいという指摘があったが、教員ではカナダトロント大学の研究等においてなじみがあるためか、わからないという指摘はなかった。

今後は教員が学生を評価する際にも、どのような基準が必要かを明確にすることが求められる。

クロス表

			1				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	8	9		1	18
		所属の%	44.4%	50.0%		5.6%	100.0%
	短期大学	度数		1	2		3
		所属の%		33.3%	66.7%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	6		2	1	9
		所属の%	66.7%		22.2%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	5		1		6
		所属の%	83.3%		16.7%		100.0%
合計		度数	20	11	5	2	38
		所属の%	52.6%	28.9%	13.2%	5.3%	100.0%

クロス表

			2				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	11	6	1		18
		所属の%	61.1%	33.3%	5.6%		100.0%
	短期大学	度数		1	2		3
		所属の%		33.3%	66.7%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	5	1	1	2	9
		所属の%	55.6%	11.1%	11.1%	22.2%	100.0%
	通信制社会福祉養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	4	1	1		6
		所属の%	66.7%	16.7%	16.7%		100.0%
合計		度数	21	10	5	2	38
		所属の%	55.3%	26.3%	13.2%	5.3%	100.0%

クロス表

			3				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	7	9	2		18
		所属の%	38.9%	50.0%	11.1%		100.0%
	短期大学	度数		2	1		3
		所属の%		66.7%	33.3%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	5	2	1	1	9
		所属の%	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	5		1		6
		所属の%	83.3%		16.7%		100.0%
合計		度数	18	14	5	1	38
		所属の%	47.4%	36.8%	13.2%	2.6%	100.0%

クロス表

			4				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	5	10	3		18
		所属の%	27.8%	55.6%	16.7%		100.0%
	短期大学	度数		2	1		3
		所属の%		66.7%	33.3%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	4	3	1	1	9
		所属の%	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	4	1	1		6
		所属の%	66.7%	16.7%	16.7%		100.0%
合計		度数	13	18	6	1	38
		所属の%	34.2%	47.4%	15.8%	2.6%	100.0%

加え表

			5				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	9	8	1		18
		所属の%	50.0%	44.4%	5.6%		100.0%
	短期大学	度数	1		1	1	3
		所属の%	33.3%		33.3%	33.3%	100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	5	1	1	2	9
		所属の%	55.6%	11.1%	11.1%	22.2%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	5		1		6
		所属の%	83.3%		16.7%		100.0%
合計		度数	20	11	4	3	38
		所属の%	52.6%	28.9%	10.5%	7.9%	100.0%

加え表

			6				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	8	7			15
		所属の%	53.3%	46.7%			100.0%
	短期大学	度数		1	1	1	3
		所属の%		33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	6	1	1	1	9
		所属の%	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	3	1	2		6
		所属の%	50.0%	16.7%	33.3%		100.0%
合計		度数	18	11	4	2	35
		所属の%	51.4%	31.4%	11.4%	5.7%	100.0%

クロス表

			7				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	8	6	3		17
		所属の%	47.1%	35.3%	17.6%		100.0%
	短期大学	度数	1		2		3
		所属の%	33.3%		66.7%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	3	4	1	1	9
		所属の%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	2	2	2		6
		所属の%	33.3%	33.3%	33.3%		100.0%
合計		度数	15	13	8	1	37
		所属の%	40.5%	35.1%	21.6%	2.7%	100.0%

クロス表

			8				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	11	4	3		18
		所属の%	61.1%	22.2%	16.7%		100.0%
	短期大学	度数		1	2		3
		所属の%		33.3%	66.7%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	2	5		1	8
		所属の%	25.0%	62.5%		12.5%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	3	2	1		6
		所属の%	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
合計		度数	16	14	6	1	37
		所属の%	43.2%	37.8%	16.2%	2.7%	100.0%

クロス表

			9				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	4	12	1	1	18
		所属の%	22.2%	66.7%	5.6%	5.6%	100.0%
	短期大学	度数		1	2		3
		所属の%		33.3%	66.7%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	6		2	1	9
		所属の%	66.7%		22.2%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	3	2	1		6
		所属の%	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
合計		度数	13	17	6	2	38
		所属の%	34.2%	44.7%	15.8%	5.3%	100.0%

クロス表

			10				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	8	8	2		18
		所属の%	44.4%	44.4%	11.1%		100.0%
	短期大学	度数	1	1		1	3
		所属の%	33.3%	33.3%		33.3%	100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	5	1	2	1	9
		所属の%	55.6%	11.1%	22.2%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	3	2	1		6
		所属の%	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
合計		度数	18	13	5	2	38
		所属の%	47.4%	34.2%	13.2%	5.3%	100.0%

クロス表

			11				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	11	5	2		18
		所属の%	61.1%	27.8%	11.1%		100.0%
	短期大学	度数		2	1		3
		所属の%		66.7%	33.3%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	3	5		1	9
		所属の%	33.3%	55.6%		11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	2	2	2		6
		所属の%	33.3%	33.3%	33.3%		100.0%
合計		度数	16	16	5	1	38
		所属の%	42.1%	42.1%	13.2%	2.6%	100.0%

クロス表

			12				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	9	7	2		18
		所属の%	50.0%	38.9%	11.1%		100.0%
	短期大学	度数		2	1		3
		所属の%		66.7%	33.3%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	3	3	2	1	9
		所属の%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	4	2			6
		所属の%	66.7%	33.3%			100.0%
合計		度数	16	16	5	1	38
		所属の%	42.1%	42.1%	13.2%	2.6%	100.0%

クロス表

			13				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	12	5	1		18
		所属の%	66.7%	27.8%	5.6%		100.0%
	短期大学	度数	1		1	1	3
		所属の%	33.3%		33.3%	33.3%	100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	5	3		1	9
		所属の%	55.6%	33.3%		11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	4	2			6
		所属の%	66.7%	33.3%			100.0%
合計		度数	23	11	2	2	38
		所属の%	60.5%	28.9%	5.3%	5.3%	100.0%

クロス表

			14				合計
			大変適切な項目である	やや適切な項目である	あまり適切とはいえない項目である	ほとんど適切とはいえない項目である	
所属	大学	度数	13	4	1		18
		所属の%	72.2%	22.2%	5.6%		100.0%
	短期大学	度数	1	1		1	3
		所属の%	33.3%	33.3%		33.3%	100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	7	1		1	9
		所属の%	77.8%	11.1%		11.1%	100.0%
	通信制社会福祉士養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	6				6
		所属の%	100.0%				100.0%
合計		度数	27	8	1	2	38
		所属の%	71.1%	21.1%	2.6%	5.3%	100.0%

加入表

			15				合計
			大変適切な 項目である	やや適切な 項目である	あまり適切と はいえない 項目である	ほとんど適切 とはいえない 項目である	
所属	大学	度数	12	4	2		18
		所属の%	66.7%	22.2%	11.1%		100.0%
	短期大学	度数	1	1	1		3
		所属の%	33.3%	33.3%	33.3%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	5	3		1	9
		所属の%	55.6%	33.3%		11.1%	100.0%
	通信制社会福祉養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の 専門学校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	高等学校	度数	4	2			6
		所属の%	66.7%	33.3%			100.0%
合計		度数	22	12	3	1	38
		所属の%	57.9%	31.6%	7.9%	2.6%	100.0%

加入表

			16				合計
			大変適切な 項目である	やや適切な 項目である	あまり適切と はいえない 項目である	ほとんど適切 とはいえない 項目である	
所属	大学	度数	10	8			18
		所属の%	55.6%	44.4%			100.0%
	短期大学	度数	1	1	1		3
		所属の%	33.3%	33.3%	33.3%		100.0%
	通学生社会福祉士養成校	度数	4	2	2	1	9
		所属の%	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	100.0%
	通信制社会福祉養成校	度数		1			1
		所属の%		100.0%			100.0%
	社会福祉士養成校以外の 専門学校	度数	1				1
		所属の%	100.0%				100.0%
	高等学校	度数	3	2	1		6
		所属の%	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
合計		度数	19	14	4	1	38
		所属の%	50.0%	36.8%	10.5%	2.6%	100.0%